

中部運輸局観光部

平成31年2月27日

定例記者懇談会発表



<お問い合わせ先>

中部運輸局観光部 金子、加納

TEL : 052-952-8045

『高山・下呂 ⇄ 馬籠・妻籠』間を直行バスが運行
～ 飛騨⇄東美濃を訪れる外国人旅行者の移動利便性が向上～

飛騨地域を訪れる外国人旅行者は依然として増加傾向にあり、昨年1月～12月の外国人観光客宿泊者数は、高山市では対前年比5%増の54万人程度の見込み（平成31年1月4日 高山市記者会見資料）、下呂市では対前年比20%増の12.3万人（下呂市平成30年度観光統計）となっています。

一方、旧中山道馬籠宿・妻籠宿も外国人旅行者に人気が高く、高山・下呂から馬籠・妻籠方面への移動手段に関する問合せも増えているようですが、両地域をダイレクトに結ぶ公共交通手段は無く、公共交通を利用する場合、JR高山線、太多線、中央線を乗り継ぎ、長時間（特急利用で約3時間半）をかけて移動するほかないのが現状です。

このような状況を踏まえ、高山市を拠点とする濃飛乗合自動車株式会社は、高山・下呂～馬籠・妻籠間を移動する外国人旅行者等の利便性向上を図るため、同区間をダイレクトに結ぶ乗合バスの実証運行を本年4月1日より6ヶ月間実施します。

※実証運行の概要は別紙を参照願います。

こうした観光地間の移動利便性の確保に向けた取組が外国人旅行者等の周遊性を高め、観光需要の定着や滞在時間の延長、消費の拡大などが期待されます。また、2027年のリニア新幹線（岐阜県駅）の開業を迎えるにあたり、東美濃と飛騨の地域間連携による観光戦略の推進も期待されるところです。

「高山・下呂⇄馬籠・妻籠」間 直行バスの実証運行の概要

運行概要

- 区間：高山濃飛BC～下呂BC・下呂駅前～馬籠・妻籠
(228km)
※「高山濃飛BC～下呂BC・下呂駅前」間、「馬籠～妻籠」間は乗降の取り扱いはしない
- 期間：平成31年4月1日（月）～
平成31年9月30日（月）【6ヶ月間】
- 回数：1往復／日
- 運賃：高山～馬籠・妻籠 @3,200円（往復5,500円）
下呂～馬籠・妻籠 @2,300円（往復4,000円）
※小人半額
昇龍道フリーバスきっぷ提示で大人500円、小人300円割引
- 直行バスを使ったモデルコース
 - ①高山・下呂→馬籠・妻籠→下呂・高山〔往復〕
 - ②高山・下呂→馬籠→妻籠→馬籠→JR中津川駅〔至名古屋方面〕
※北恵那交通の路線バスに接続
 - ③高山・下呂→馬籠→妻籠→JR南木曾駅〔至松本方面〕
※南木曾町コミュニティバスに接続

